ゆっ

舞踊や音楽などのイベント >た東南アジアの日常を体感してください。や 音楽などのイベントを通して、 ゆったり -春のみんぱくフォーラム20-たり東南アジア

中で生きる人びとについて考えます。現代の東南アジア社会がかかえる課題とその **◆みんぱく映画会「映画で知る東南アジア」** ■関連イベント

「虹の兵士たち」

「消えた画 月24日(日)13時30分~ 月10日(日)13時30分~16時30分 クメール・ルージュの真実」 16 時

から本館2階観覧券売場にて整理券を配布 本館講堂(定員450名) 要展示観覧券、 13時開場、

11 時

クショップ

ドキュメンタリー映画で知るマレーシアの影①2月13日(土)(定員の名) 「東南アジアの仮面と人形」

③ 2月20日(土)(定員20名)

戸加里康子(拓殖大学 非常勤講師)

『大学 教授) **-クショップ**

ハナジョス(ジャワ芸能ユニット) ・**ーマンスとワークショップ**

お話とワークショップインドネシアの仮面舞踊 ④ 2月2日(日)(定員20名)

福岡まどか(大阪大学 准教授)

講師 あさぬまちずこ (パントマイミスト) パフォーマンスとワークショップ の 2月27日(土)(定員40名)

講師 福富友子(東京外国語大学 非常勤講師)カンボジアの影絵芝居:お話とワークショップ ⑥ 2月28日(日)(定員40名) 福富友子(東京外国語大学 非常勤講師)

参加無料 ※要事前申込(12月11日~ 本館第5セミナー室 全日程11時~13時(開場10時30分) 月26日17時必着)

時間

がもらえます クイズに全問解答すると、 ◆展示場クイズ「みんぱQ」東南アジア編 オリジナル記念品

1月12日(火)まで

年末年始展示イ さる

地の「さる」を紹介します。 みんぱく所蔵の資料や写真を展示し、2016年の干支である「さる」をテ 世界各

会場 会場 本館第5セミナ 「みんぱく×ニラレル 本館ナビひろば(観覧無料) 1月11日(月·祝) -月26日(火)まで 室 13時30分~ . 15 時

「ふむふむ なるほど! ◆ワークショップ みんぱく初歩き」

※当日随時受付、 先着順、 参加無料、 (定員350名) 6歳未

みんぱくの研究者が驚きと感動をお届けし

「地球探究紀行」

※定員に達しましたので、 人と生き物をつなぐ」 申込受付を終了

10時30分~16時30分(受付16時まで) 白(月 祝

本館エントラ

問日

※当日受付、 先着順、参加無料

「干支の申で絵馬を作ろう」

「西アフリカの昔話を語る」 ※当日随時受付、 先着順、参加無料

日時

会場 ※参加無料 (各回30分)

「あの日の声を探して」

日時

2月6日(土)

時から本館2

満の方は保護者同伴で参加

クショップ ◆みんぱくミュージアムパ

13 時 13時30分/

本館エントランスホー1月24日(日)10時~14 , — 16 ル 時 (定員80名)

13時30分~16時30分(開場13時)1月30日(土)

13 時、 16時15分(開場12時30分)

館エントランスホール月9日(土)12時~15時30分

日時 本館エン

参加無料

※申込不要、

トナーズのワ

本館エントランスホール11時(各回30分程度)11時(各回30分程度)11時(月・祝)

ル(定員各回10名)

本館エントランスホー1月4日(日)

※申込不要、要展示観覧券、 本館講堂 (定員450名)

会場

「点字体験ワークショップ」

みんぱくミュージアムパ

「波伝谷に生きる人びと」

階観覧券売場にて整理券を配布

「おりがみで遊ぼう! ~干支シリーズ~『申』」

会場

13時~14時30分

(: 祝)

共催

特別協力 インドの家族とそのかたち、 -月27日(水) -月13日(水) 松尾瑞穂 (本館 准教授)

ま

講師河合洋尚(本中国の世界遺産建築 (本館 助教)

06・6633・90・ウェーブ産経カレッジがお申込み・お問い合わせ先 ッジシアター係

展示リニューアルのお知らせ中央・北アジア、アイヌの文化

展示リニュー 16日(水)まで閉鎖して -ヌの文化 -アル工事のため、 展示場を20 います 中央・ 6 年3月

に各展示場を次のとおり閉鎖します設備工事のため、2016年1月 1月27日(水) リカ・ヨ から3 ー ロッパ

2月3日(水)~2月10日(水) 西アジア・音楽・

2月10日(水)~2月17日(水) アフリ ź

朝鮮半島の文化 ~3月9日(水) 日本の文化 ~3月2日(水) 南アジア 中国地域の文化 ·月27日(水)~2月3日(水) オセアニア -月20日(水)~

2月17日(水)~2月24日(水)

3月9日(水)~3月16日(水) 東南アジア 2月24日(水):) 月2日(水)

ムページを

――新東南アジア展示から読みとくイスラーム化と向き合う先住民 第450回 1月9日(土) 14時~16時

信田敏宏(本館 教授)

活動を本格化させていきました。30年以上に及ぶイス保持する先住民オラン・アスリに対してイスラーム宣教になり、1980年代以降は、精霊信仰・アニミズムをは、1970年代からイスラーム化政策を推進するよう世界的なイスラーム復興の影響を受け、マレーシア政府世界的なイスラーム復興の影響を受け、マレーシア政府 る森の民オラン 響をもたらしたので ラーム化政策は、オニ活動を本格化させて と思います。 ・アスリの未来可能性について、 オラン・アスリの 熱帯ジ 社会にどのよう ルに生き な影

●講義(14時~15時10分) 終了後、 東南アジア展示場の

見学会をおこな 2月6日(土) 14時~16

E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp 博物館で食文化を考える 世界の食文化を学ぶ⑥

みんぱく展示場をフィ ルドに見立てて

池谷和信(本館 教授)

フィーレドこ見立て、各地の食の在り方をさぐるととも、大ウモロコシや芋類など、それらの組み合わせには地域的な多様性がみられます。一方で「調理をする」「食糧を分かちあう」といった行為には、人類文化としての共通はを見いだすことができます。本講演会では、展示場をは、大りモロコシや芋類などの主食、肉や魚や野菜から得る、大いでは、大りでは、大りでは、大りできます。米や小麦、地球上にはさまざまな飲食文化がみられます。米や小麦、地球上にはさまざまな飲食文化がみられます。米や小麦、満師・池谷和信(オ魚 孝邦) 未来について考えます 食文化研究の動向にも触れながら、 食の過去、 現在、

おこないます。 ●講義(14時 15時10分) 終了後、 展示場の見学会を

――インドネシア、スンバ島で家屋を建てる祖先とともに住まう家 第452回 3月5日(土) 14時~16時

講師

6-3

人の子どもたちの成長を追い かけながら、食卓を囲み、仕事を ともにすることで次第にムラの 成員として認められていき、調

1980年代の初めから韓国社会

が変貌する姿と、故国を離れて

なお逞しく生きる海外コリアン

の実像を描きだす。 韓国の島での住みこみ先の三

変遷を切り口に、社会主義革命の意義を見つめ直す。国 家によって語られる歴史とは異なる、中国激動の時代 ン韓人など、海外コリアンの生活についての共同調査で の体験を描くフィールドワークの半生記かつ反省記。 そのもうひとつの姿を伝える!

国立民族学博物館友の会 http://www.senri-f.or.jp/

(本館 准教授)

電話でのお問い合わせ 06-6878-8560 (本館 広報係)

●展示場閉鎖のお知らせ

みんぱくホームページ http://www.minpaku.ac.jp/

みんぱくフェイスブック http://www.facebook.com/MINPAKU.official

ス9

むか

産経新聞社、近鉄文化サロン、スペ 国立民族学博物館、千里文化財団

参加費各回1000円(定員各回50名)※要事前申込(参加状況により当日受付あり) あべのハルカス近鉄本店「スペ

世界の文化の、奥深く、へご一緒にど

.. 导 ~

, 12 時

『コリアン社会の変貌と越境』

臨川書店 2.000円(税抜)

絵芝居の現在

(で) 2月4日(日)(定員2名)

パフォーマンスとワジャワの影絵芝居:

みんぱくゼミナー 本館講堂 本館講堂 13時30分~15時 (13時開場)

日は本館展示を無料で観覧いただけ1月4日(月)まで休館します。1月1

たけます。 ただし自然月11日(月・祝)成人の

友の会

本館第5セミナ

室(定員%名) (会員証提示)、

友の会講演会(大阪)

入園料が必要です

※当日先着順

会員無料

般 5

0

●休館日、

無料観覧日のお知らせ

文化園(有料区域)を通行される場合、

参加費 〈 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)450名(当日先着順)

第452回 1月16日(土)

東南アジアの人形芝居 福岡正太(本館 准教授)

祝を除く)です。 ※電話でのお問い合わせの受付時間は、

9時~17時

(土 日

ご覧ください

※各イベントについてくわしくはみんぱくホー

を中であやつる人形まで、中であやつる人形を人形である人形まで、中であやつる人形まで、力的な人形芝居がみられた人形を中であれた人形を中でに、人形を中である人形では多くの魅いがない。 た芸能の魅力を紹介し

研究者と話そう みんぱくウィ クエンド ・サロン

申込不要、参加無料(要展示観覧券)間 14時30分~15時30分

「研究について」「調査している地域(国)の最新標本館の研究者が来館された皆様の前に登場します いる地域(国)の最新情報」「展示

■韓敏 著

大地の民に学ぶ

『大地の民に学ぶ

-激動する故郷、中国』

SHIRE

電話 06-6877-8893 (9時~17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716

第451回

臨川書店 2,000円(税抜)

中国の民衆にとって社会主義

的近代化とは果たして何だっ たのか――1980年代、改革開

放路線を歩み始めた中国で、ひ

とりの女子大学院生は自社会に

対する疑問を解明するため、人

類学を志した。農民の語る革命

話題や内容は実に多彩

月10日(日) 本館第3セミナ 室

命をふきこむ技と祈り 11 時 〜 , 12 時

画像デー 月17日(日) タベ ースで見る・学ぶ「近代日本の身装文化」 本館第3セミナ

丸川雄三 (本館 准教授)

東南アジアの 1月24日(日) 人形芝居 本館東南アジア横休憩所 (本館 准教授) 撮影裏話

月31日(日) 本館ナビひろば

チョコ ト博物館

刊行物紹介

■朝倉敏夫 著

鈴木紀 (本館 准教授)